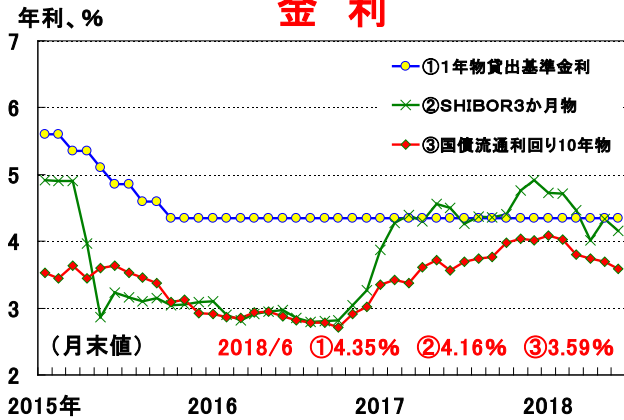


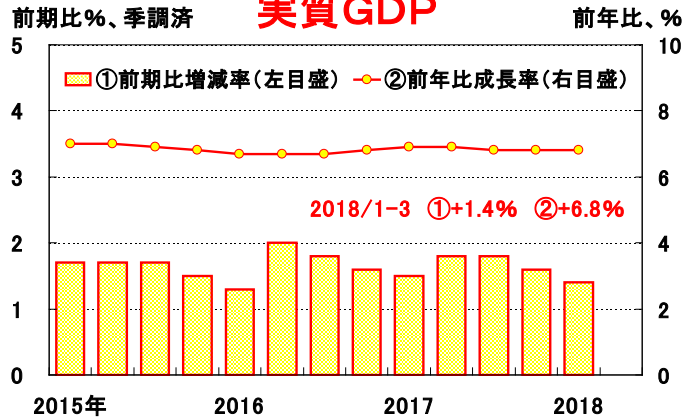
グラフで見る中国経済 2018年7月号(No. 110)

中国では、足元で個人消費と投資が減速している。まず、個人消費の動向を表す小売売上高は5月に前年比+8.5%と2003年6月以来の低い伸びを記録した。中小零細企業の業績悪化に伴う雇用情勢の軟化に加え、住宅ローンの返済負担増加による住宅購入者の生活支出の抑制も足元で個人消費の減速につながっている。また、5月の固定資産投資は前年比+3.9%と、2002年12月以来の低い伸びとなった。内訳をみると、習近平体制による財政支出の抑制を受けて、公共インフラ関連が2012年4月以来の低い伸びにとどまった。

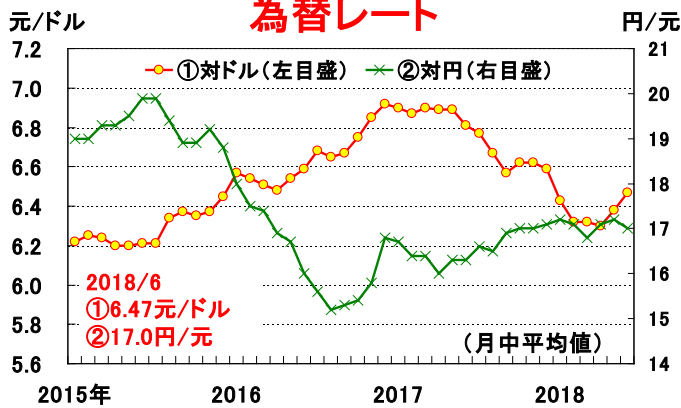
金利



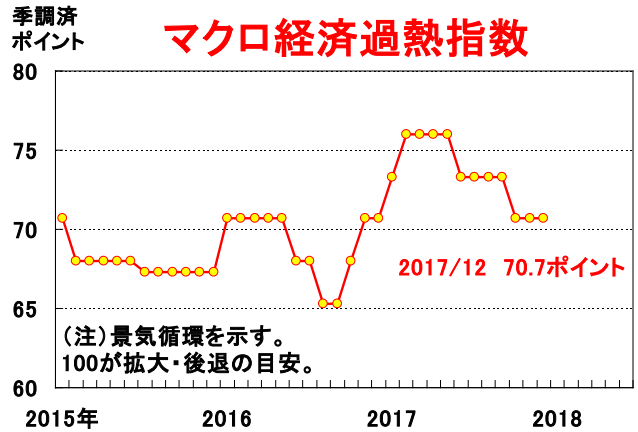
実質GDP



為替レート



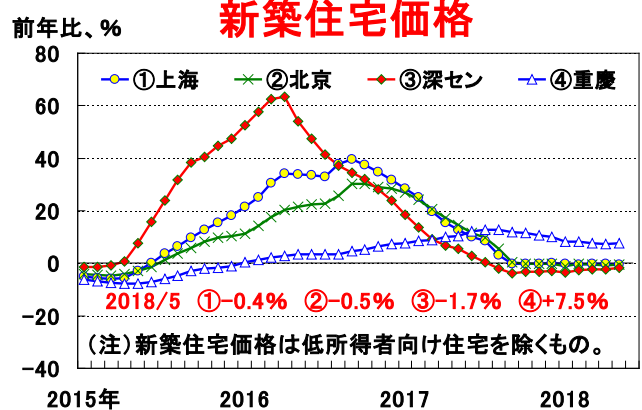
マクロ経済過熱指数



上海総合指数(株価)



新築住宅価格

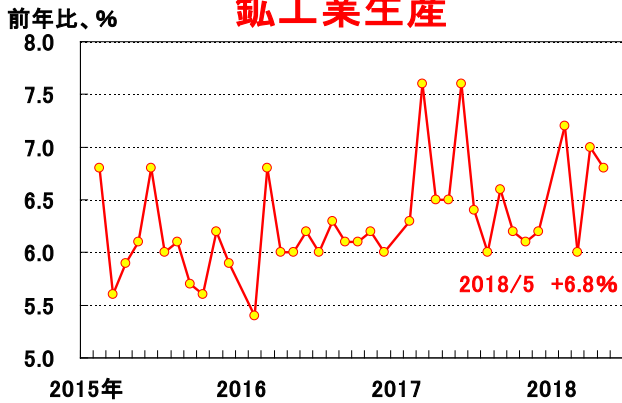


【今月のトピック: 人民銀行、預金準備率を追加引き下げ】 2018年6月24日、中国人民銀行(中央銀行)は4月に続いて預金準備率を引き下げることを発表した(大手銀行で16.0%から15.5%へ)。実施の対象は大手商業銀行や株式制商業銀行、外資銀行などである。目的としては、(企業の過剰債務と株式を交換することを指す)債務株式化の支援のほか、中小零細企業向けの資金支援の強化も挙げられている。この2回に渡る預金準備率の引き下げにより、中小零細企業向けの銀行貸出に充てられる資金が最大で6,000億元(約10兆円)増加すると見込まれている。

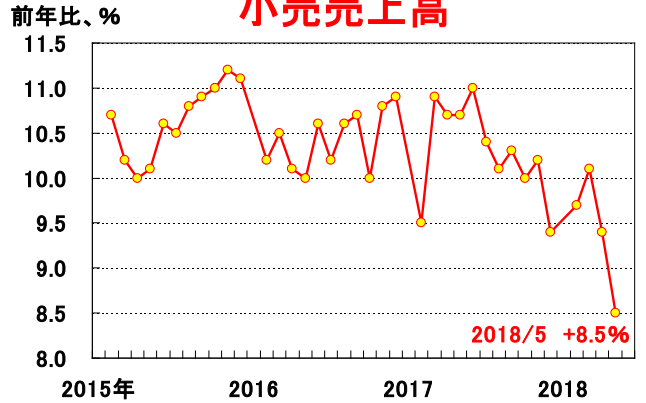
(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

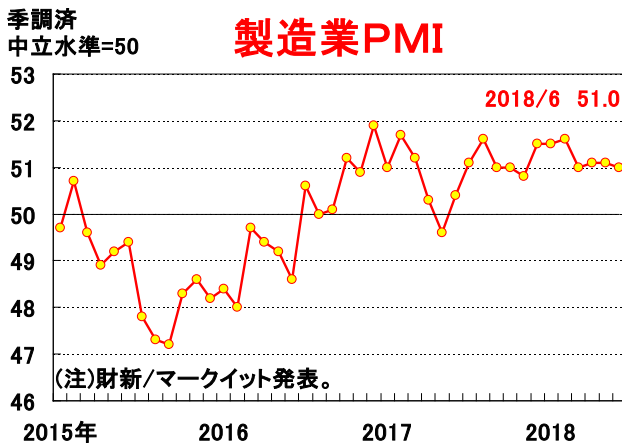
鉱工業生産



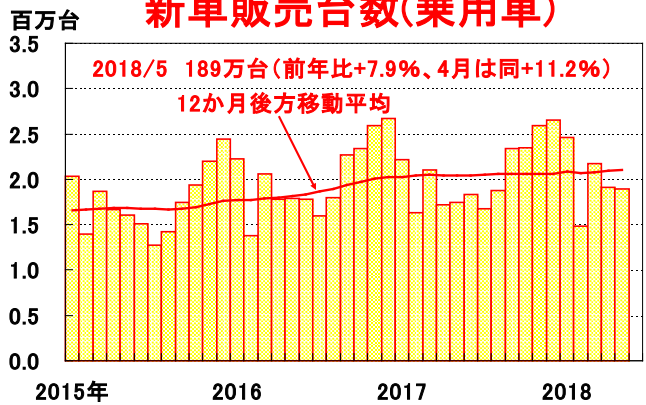
小売売上高



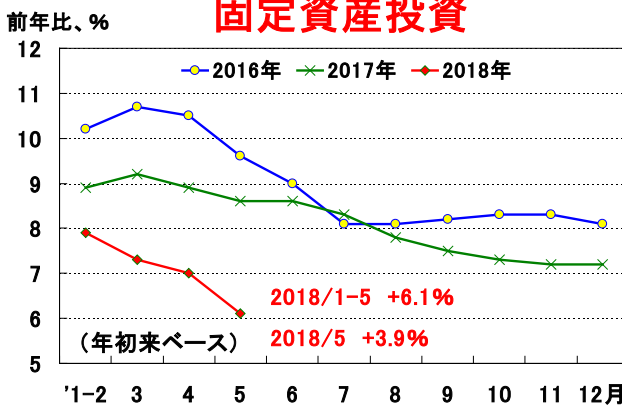
製造業PMI



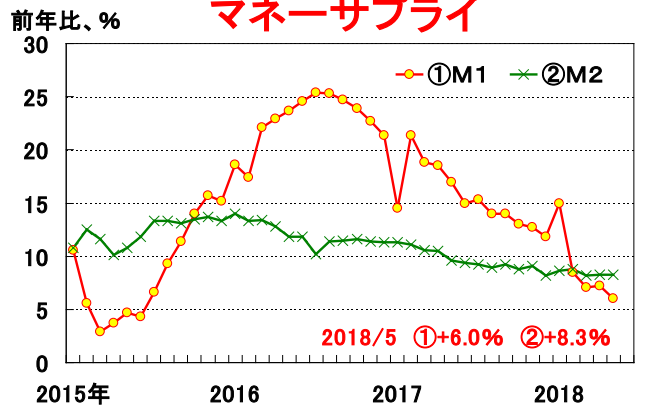
新車販売台数(乗用車)



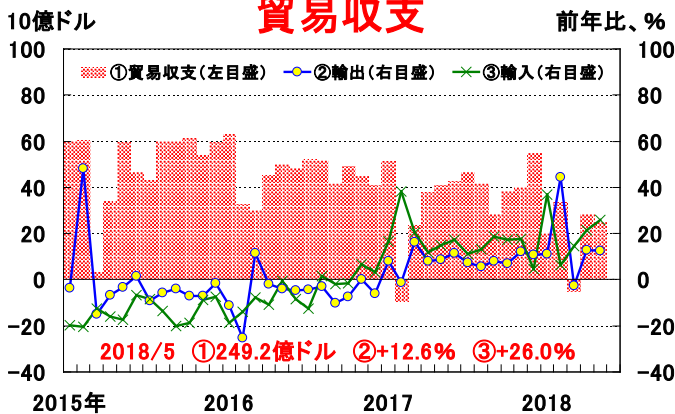
固定資産投資



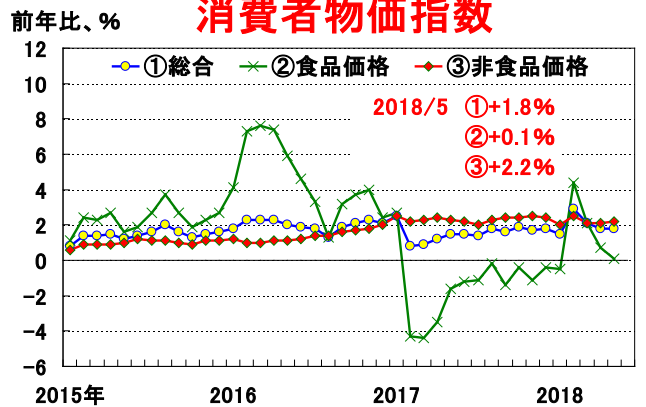
マネーサプライ



貿易収支



消費者物価指数



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽車工業協会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。